

日本写真測量学会 令和7年度秋季学術講演会
プログラム

開催日時：令和7年11月20日(木) 10時00分～15時45分 学術講演会 参加費：正会員5,000円 非会員7,000円 学生3,500円(会員・非会員共) (いずれも論文集代含む／消費税込)
16時00分～16時45分 特別セッション「なぜ、国際学会ISPRSを日本に誘致する必要があるのか？」
17時00分～18時00分 特別講演「気候変動下で森林の多面的機能をどう活かすかー山形県の課題と挑戦」林田光祐 教授(山形大学農山村リジェネレーション共創研究センター)
18時15分～20時15分 技術交流会 会場：ホテルメトロポリタン山形 3階 「出羽」 参加費：一般5,000円／学生4,000円(消費税込)
11月21日(金) 9時30分～16時50分 学術講演会
11月22日(土) 巡検
巡検コース：山形駅前出発→ 米沢市へ／上杉家廟所・上杉神社・酒蔵資料館東光の酒蔵→<昼食>→山形市内見学(文翔館・山形県立博物館教育資料館)→山形駅(16:30頃解散予定)
巡検参加費：5,000円(バス代、昼食、入場料込／消費税込)

開催場所：山形県山形市「山形テルサ」 〒990-0828 山形県山形市双葉町1-2-3

第1日目 11月20日(木)

10:00 - 10:10

開会のあいさつ

会長 清水 英範

第1会場(3階 アブローズ A)		
セッションA	写真測量	司会：間野 耕司(パスコ)
10:20 - 10:35	A-1	ステレオカメラを用いた建設現場の3Dマッピングにおける深度改善 ○石黒 龍之介・須崎 純一・石井 順恵(京都大学)・その他1名
10:35 - 10:50	A-2	クレーン動画像を用いた三次元地図生成における視差の精度要因分析 ○風間 小次郎・須崎 純一・石井 順恵(京都大学)・その他1名
10:50 - 11:05	A-3	高解像度カメラによる空中写真ネガフィルムのデジタル化 ○田中 雅基・内田 修・織田 和夫(アジア航測)・その他4名
11:05 - 11:20	A-4	MMS取得点群からの破線の車線境界線抽出技術の開発 ○後藤 悠也・本間 亮平(アジア航測)
11:20 - 11:35	A-5	空き家調査支援を前提とした衛星画像の適用に関する基礎的検討 ○辻野 翔大・熊谷 樹一郎(摂南大学)・畑尾 一貴(HawksMap)
11:35 - 11:50	A-6	スマートフォン画像を用いた3次元モデル構築における測位精度の影響 ○李 勇鶴・佐田 達典(日本大学)

第2会場(3階 アブローズ B)		
セッションC	森林・樹木	司会：遠藤 貴宏(RESTEC)
10:20 - 10:35	C-1	地上動画データを用いたDBH自動計測手法の提案 ○中川 拓人・梶原 康司(千葉大学)
10:35 - 10:50	C-2	樹木の衰退度診断におけるTLSおよびUAVの応用 ○山崎 雅治・國井 洋一(東京農業大学)
10:50 - 11:05	C-3	林冠-林床の光環境観測による可視近赤外域の反射・透過特性評価 ○小矢沢 琢三・山下 恵(東京農工大学)・吉村 充則(日本大学)
11:05 - 11:20	C-4	GreenSeekerを用いた異なる間伐密度下における下層植生評価手法の検討 ○成澤 朋紀・米澤 千夏(東北大学)・高岸 且(パスコ)
11:20 - 11:35	C-5	立木密度が異なるスギ人工林におけるマルチGNSSの位置精度評価 ○高岸 且(パスコ)・米澤 千夏・成澤 朋紀(東北大学)
11:35 - 11:50	C-6	クロロフィルa・bおよびカロテノイド含量の推定におけるVision Transformerの適用 ○蘭部 礼・山下 寛人・森田 明雄(静岡大学)・その他1名

11:50 - 12:50

昼食

12:50 - 14:00	ペンダーフォーラム	司会：中西芳彦(国際航業)、若泉拓磨(アジア航測)
1. SBG Systems Japan合同会社「(仮)進化し続ける後処理ソフトウェアQinertialについて」 2. リーグルジャパン(株)「RIEGL レーザースキャナー 2026新製品情報」 3. TPホールディングス(株)「スマホを使用した地上写真測量PIX4D catch RTKのご紹介」 4. (株)CHC NAVIGATION JAPAN「CHC 点群商品のご紹介」 他		

14:00 - 14:15

休憩

セッションB	3次元モデリング	司会：高橋 洋二(エアロトヨタ)
14:15 - 14:30	B-1	WorldView Legionの地図作成における利用可能性の検証 ○神山 優恵(国土地理院)・高安 泰生(陸上自衛隊)・長野 玄(国土地理院)・その他3名
14:30 - 14:45	B-2	NeRFと3D Gaussian Splatting生成点群の形状再現性評価 ○長尾 隆伸・本間 亮平(アジア航測)
14:45 - 15:00	B-3	Large-Scale 3D Gaussian Splatting Based on UAV Multi-Modal Platform Haonan Dong・○Zhijun Wang・Qingyun SONG(Guangming Lab)・その他2名
15:00 - 15:15	B-4	LRTKの詳細点群スキャンにより生成した路面点群とMMSによる点群との比較検証 ○佐田 達典(日本大学)・高安 基大(レフィクシア)
15:15 - 15:30	B-5	地上計測による広域ガウシアン・スプラッタリングの復元手法の提案 ○熊崎 理仁(エアロトヨタ)・藤原 龍(ホロラボ)・國井 洋一(東京農業大学)
15:30 - 15:45	B-6	汎用タブレットによる高精度近接写真測量の実現可能性と課題 ○森 直樹・高橋 智子(MHIパワーエンジニアリング)・原 智子(デジタルみらい)

セッションD	リモートセンシング	司会：関山 絢子(東京農業大学)
14:15 - 14:30	D-1	柑橘栽培における作物センサーとドローンによるNDVIの比較・検討 ○坂田 彩夏(愛媛大学附属高等学校)・玉井 修二(愛媛大学)
14:30 - 14:45	D-2	ハイパースペクトルデータによる酒造適性の推定モデルの予察的検討 ○畠山 栞(RESTEC)・齋藤 健太(埼玉県産業技術総合センター)・小田川 信哉(RESTEC)・その他1名
14:45 - 15:00	D-3	異なる衛星データとの組合せを想定したSGLIアルベド推定手法の検討 ○木村 優太・須崎 純一・石井 順恵(京都大学)・その他2名
15:00 - 15:15	D-4	異なる軌道衛星の組合せを想定した半経験的BRDFモデルの比較検討 石井 順恵・○須崎 純一・木村 優太(京都大学)・その他2名
15:15 - 15:30	D-5	和牛の接触行動の把握に向けたAI姿勢推定器による固定カメラ映像の解析 ○田隅 大路・村井 亮介・橋本 直之(高知大学)・その他2名
15:30 - 15:45	D-6	24時間監視カメラ映像を用いたAI物体検知による和牛の発情検知 ○村井 亮介・田隅 大路・橋本 直之(高知大学)・その他2名

15:45 - 16:00

休憩

16:00 - 16:45	特別セッション	司会：須崎 純一(京都大学)
テーマ：「なぜ、国際学会ISPRSを日本に誘致する必要があるのか？」		

16:45 - 17:00

休憩

17:00 - 18:00	特別講演	司会：中川 雅史(芝浦工業大学)
題目： 気候変動下で森林の多面的機能をどう活かすかー山形県の課題と挑戦 講師： 林田 光祐 教授(山形大学農山村リジェネレーション共創研究センター)		

18:00 - 18:15

移動

18:15 - 20:15 技術交流会 会場：ホテルメトロポリタン山形 3階「出羽」

第2日目 11月21日(金)

第1会場（3階 アプローチ A）				
セッションE	都市モデリング		司会：中川 雅史（芝浦工業大学）	
9:30 - 9:45	E-1	航空レーザ点群の計測時刻情報と局所平面性に基づく屋根検出 ○若林 和音・横田 宏行(エアロトヨタ)・金道 敏樹(金沢工業大学)		
9:45 - 10:00	E-2	3Dデータ生成AIおよびゲームエンジンを利用した景観シミュレーション環境の構築 ○中野 李南子・山川 蓮輝(国際航業)		
10:00 - 10:15	E-3	PointTransformerV3によるALB計測点群データの属性分類 ○小森 惇也・角田 里美(アジア航測)・堀田 一弘(名城大学)		
10:15 - 10:30	E-4	松江城のL0D3作成におけるスマートセンシング技術の活用 ○北村 恭兵・神 宏樹・園田 晋平(アジア航測)・その他2名		
10:30 - 10:45	E-5	3D都市モデルに準拠したレーザ計測による樹木モデルの構築手法の提案 ○熊崎 理仁(エアロトヨタ)・伊藤 武仙・加茂 春菜(ホロラボ)・その他3名		
10:45 - 11:00	E-6	大規模な駅周辺の3次元点群データ取得におけるLiDAR-SLAM技術を活用した作業効率化の検討 ○下 幸太郎・鈴木 英文・稲見 麻央(パスコ)		

11:00 - 12:00

セッションF	レーザ計測		司会：本間 亮平（アジア航測）	
12:00 - 12:15	F-1	グリーンレーザを用いた航空レーザ計測による水部汚濁と測深の同時計測方法 ○下川 舜・金道 敏樹(金沢工業大学)		
12:15 - 12:30	F-2	最新SLAMシステムの性能向上と課題対応の実証的評価 ○田嶋 誠司・大谷 仁志(コパコン)		
12:30 - 12:45	F-3	離散ウェーブレット変換による3D-LiDARストリーミング点群の可逆圧縮 ○中川 雅史(芝浦工業大学)		
12:45 - 13:00	F-4	地上型レーザスキャナによる点群の類似性に関する基礎的な検討について ○中野 一也(金沢工業大学)		
13:00 - 13:15	F-5	装着型LiDAR SLAMによる法務局地図作成事業の効率化の検討 ○本多 崇(東京土地家屋調査士会)・澤口 侑・烏山 類(日本インシーク)		

13:30 - 13:45

セッションG	点群処理		司会：蘇 姝（エアロトヨタ）	
13:45 - 14:00	G-1	反射強度画像を用いたVisual Localization ○土井田 啓輔・本間 亮平・織田 和夫(アジア航測)		
14:00 - 14:15	G-2	複数のドライブレコーダー動画像用いた三次元点群データ生成に関する研究 ○橋田 侑樹・久保田 誠也(摂南大学)		
14:15 - 14:30	G-3	RTK デバイスを用いたLiDAR機能付きスマートフォンの精度検証 ○青柳 広基・樋口 陽子・大貫 加奈(アジア航測)・その他2名		
14:30 - 14:45	G-4	LiDAR搭載型モバイル端末によるMMS取得点群を用いたリアルタイム自己位置補正 ○佐藤 祐弥・本間 亮平(アジア航測)		
14:45 - 15:00	G-5	過去の空中写真とSfM/MVS技術を用いた都市域のDSMからDEMへのフィルタリング手法の試行 ○笹川 啓・吉田 一希(国土地理院)		

15:00 - 15:15

セッションH	地図作成・地域計画		司会：小玉 泰士（NTT e-Drone Technology）	
15:15 - 15:30	H-1	Photogrammetryの一般課題について ○織田 和夫(アジア航測)		
15:30 - 15:45	H-2	航空写真測量による地形図作成のあり方に関する研究 ○津留 宏介(アいちず創製)		
15:45 - 16:00	H-3	MMSレーザ点群のSLAM処理における精度検証 ○大上 岳彦(アジア航測)・佐藤 友哉(マップフォー)・平井 智(アジア航測)・その他1名		
16:00 - 16:15	H-4	土木現場におけるポート付きUAV遠隔運航を活用した出来高管理 ○山崎 颯・大石 孟(KDDIスマートドローン)・小俣 光弘(大林組)・その他5名		
16:15 - 16:30	H-5	多方向カメラなどの空中写真測量による3D都市モデル作成の取組み ○中西 芳彦・檀上 拓也・石月 心介(国際航業)・その他4名		

16:30 - 16:50

閉会式（表彰式 / 閉会のあいさつ 副会長 赤松 幸生）

第2会場（3階 アプローチ B）				
セッションI	画像処理		司会：村井 亮介（高知大学）	
9:30 - 9:45	I-1	Improving Building Segmentation Accuracy by Multitask Self-Supervised Learning ○張 浩然・松下 文経(筑波大学)		
9:45 - 10:00	I-2	UAVを用いた赤外線及び可視光撮影によるカワウ・サギ類の生息数調査への展開 ○武藤 光紀・及川 らん・鈴木 雅人(国際航業)・その他4名		
10:00 - 10:15	I-3	衛星画像を用いた風害による建物被害の分類におけるタイルサイズと分類精度の関係 ○小田中 堅暉・野中 崇志・朝香 智仁(日本大学)・その他2名		
10:15 - 10:30	I-4	洪水時の河川監視カメラ画像を用いた水位履歴画像作成手法の開発 ○禾木 陸・天口 英雄・今村 能之(東京都立大学)		
10:30 - 10:45	I-5	GANを用いたALOS-2四偏波SARからRGB画像の生成と評価 ○島岡 裕史・園部 礼(静岡大学)・望月 貴一郎(パスコ)		
10:45 - 11:00	I-6	写真データを対象とした少量教師データからの効率的な地物抽出手法の検討 ○齊藤 明王(エアロトヨタ)・石川 晴也・青木 義満(慶応義塾大学)		

昼食

セッションJ	地理情報システム		司会：古田 尚輝（RESTEC）	
12:00 - 12:15	J-1	球磨川支川山田川での河川断面形状把握についてLiDAR計測を用いた1mDEMの有効性の検討 ○小槻 拓登・中太 大智・梶原 慧一(東京都立大学)・その他2名		
12:15 - 12:30	J-2	高精度地形データ（1mDEM）が洪水氾濫解析に与える効果の検証 ○梶原 慧一・小槻 拓登・中太 大智(東京都立大学)・その他2名		
12:30 - 12:45	J-3	オープンデータを用いた下水道台帳の高さ情報補正手法の検証 ○寺島 あさひ・若吉 慧門・樋口 達也(国際航業)		
12:45 - 13:00	J-4	局所人口分布と地価との関連性に関する時空間分析 ○卯田 航平・熊谷 樹一郎(摂南大学)		
13:00 - 13:15	J-5	中山間地域における空中写真・衛星画像を用いた土地利用変遷の可視化 ○若菜 舞香・山下 恵(東京農工大学)		
13:15 - 13:30	J-6	POIを考慮した拡散モデルによる人流予測手法の開発 ○武田 智貴・布施 孝志(東京大学)		

休憩

セッションK	災害・防災		司会：中野 一也（金沢工業大学）	
13:45 - 14:00	K-1	深層学習による表層崩壊の発生予測に関する研究 ○沈 王輝・史 中超(東京都市大学)		
14:00 - 14:15	K-2	ランダム・フォレストを用いた地すべり発生予測の試み ○呉 子凡・史 中超・佐藤 剛(東京都市大学)		
14:15 - 14:30	K-3	GNSSによる変動平面モデルとSAR画像を用いた三次元変動推定精度の向上 ○岩城 直矢・須崎 純一・石井 順恵(京都大学)		
14:30 - 14:45	K-4	LiDAR反射強度を用いた林野火災焼損範囲の検出手法について ○角埜 嵩文・高貫 潤一・佐藤 匠(エアロトヨタ)・その他1名		
14:45 - 15:00	K-5	2025年大船渡市山林火災前後の冬季水環境の推定 ○岡本 勝男・遊佐 直樹・土佐 信一(国土防災技術)・その他2名		

休憩

セッションL	植生		司会：折原 雄也（パスコ）	
15:15 - 15:30	L-1	ミャンマー連邦共和国ヤンゴン地方域における水稲モニタリングの実現可能性評価 ○小田川 信哉(RESTEC)・金子 明生(日本工営)・Cho Thanda Nyunt(ミャンマー工営インターナショナル)		
15:30 - 15:45	L-2	ISS搭載ライダー実証(MOLI)プロジェクトの開発状況 ○三橋 怜・澤田 義人・境澤 大亮(JAXA)・その他2名		
15:45 - 16:00	L-3	UAV画像による竹林拡大要因の推定 ○尾崎 敬二・繁澤 昂生((元)国際基督教大学)		
16:00 - 16:15	L-4	物体検出と画像分類を組み合わせた高速・高精度な樹種判別手法 ○溝口 知広(山口東京理科大学)		